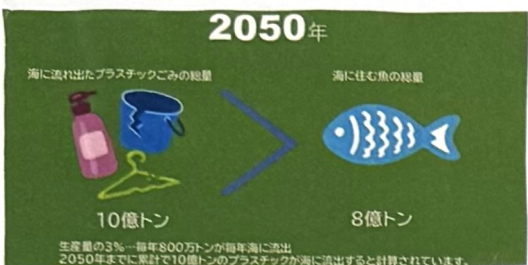


学校名

稲荷台小学校

ゴール

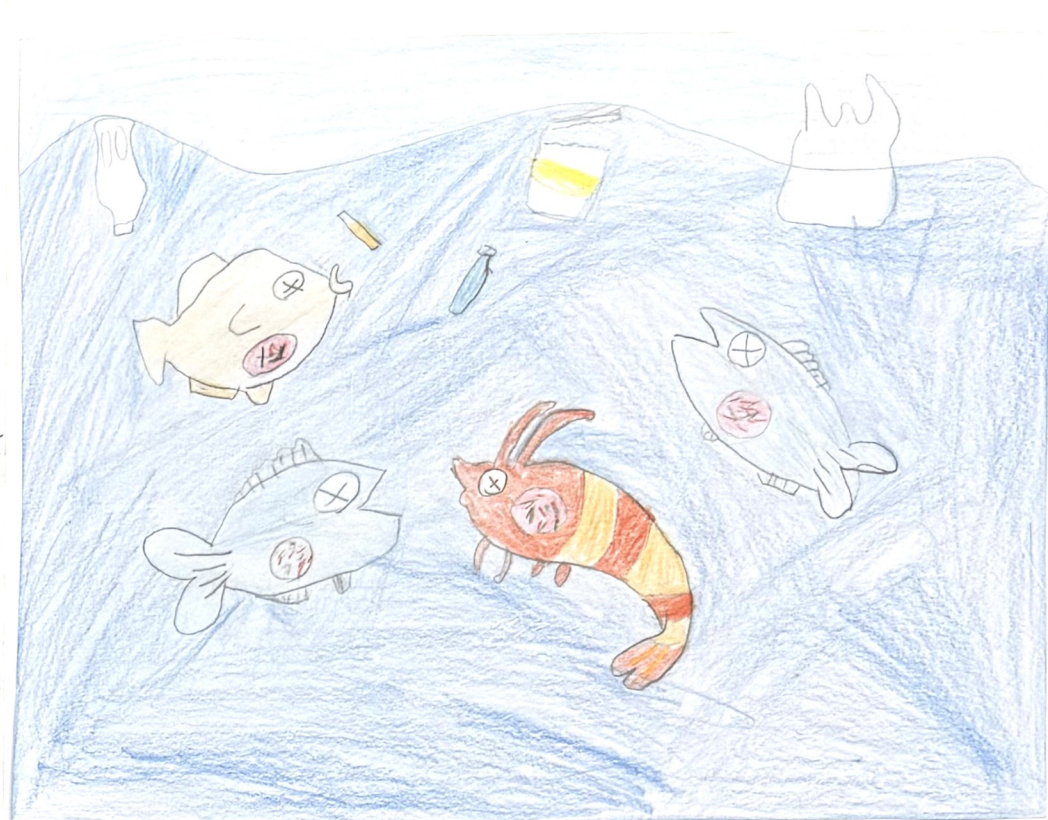
14 海の豊かさを
守ろう



〈資料1〉



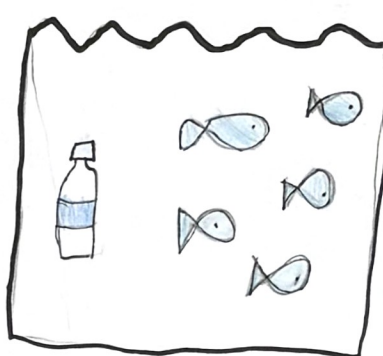
〈資料2〉



資料1を見てください。これは、2050年度の「ゴミの量」と「魚の量」です。このまま時間が進んでいくと、海に住む魚の量も、と少なくなってしまうかもしれません。この現状をなくしていくためには、二つの対策があると考えます。一つ目は、ゴミを減らすことです。これが2050年度にこうならないようにする一番良い方法ですが、それでもゴミが減らなかった場合は、もう一つ魚を増やす必要があります。これが二つ目の方法です。これは2050年度に、ゴミが10億トン出てしまっているのだから10億トンの魚を増やせば、魚がいなくなる可能性が低くなりますがそれでもゴミの量を減らすというのがとても重要になってきます。魚を増やすとみれば「放流漁業」というものがあります。資料2のように小さい稚魚は放流して大人になってからとるということをする、魚を未来まで残していくことができます。このようなことからSDGs14番達成のためにはゴミを減らして魚を増やす必要があると考えます。

プラスチックごみと魚の量の割合

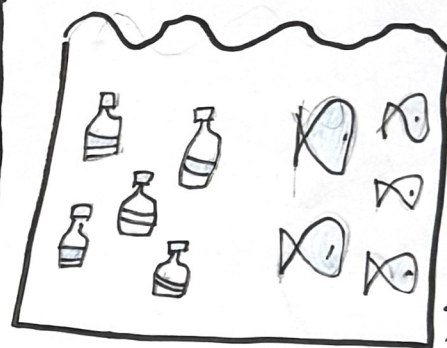
2014年



1:5



2050年



1:1

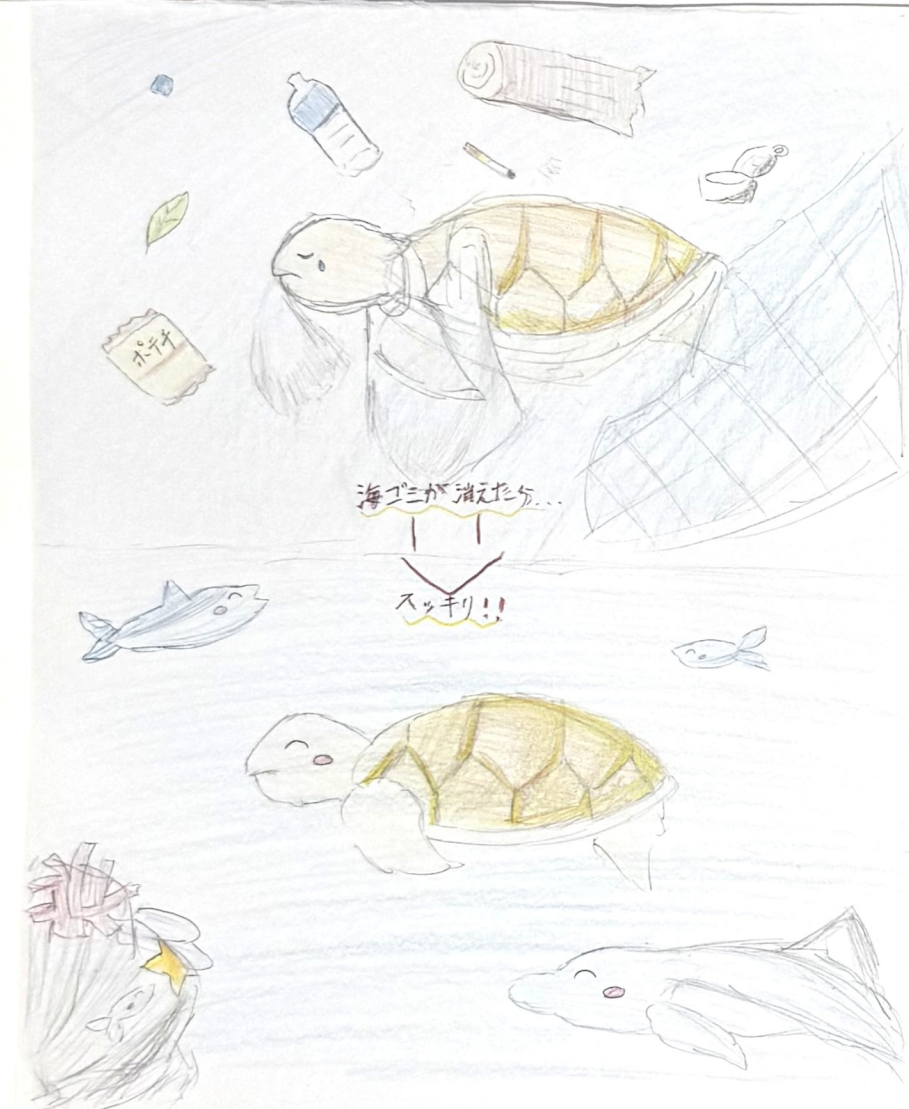
SDGs 14

被害魚 1.2倍

位 70% 増

2位 サンマ

3位 ニホンウナギ



海にゴミも捨てないでください!!

海にゴミを捨て続けると、2050年には魚がほとんどいなくなってしまいます。ゴミはゴミ箱にちゃんと捨ててください。

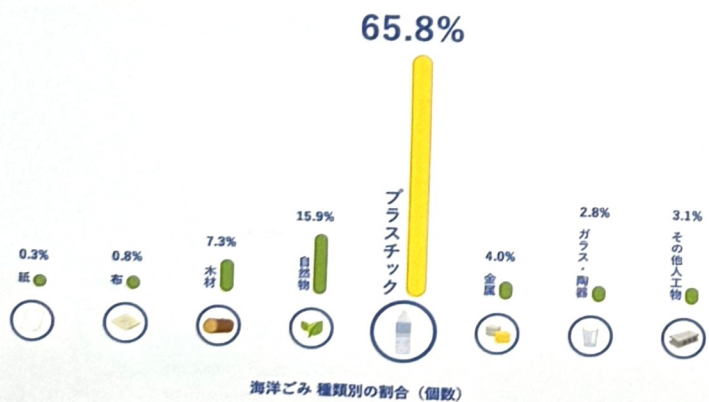
Doal system 生活協同組合 / 環境省 資源循環政策推進部 環境政策課

14 海の豊かさを
守ろう



SDGs 14 番

海の豊かさを 守ろう



この資料を見て分かる通り、海洋ゴミのほとんどがプラスチックです。他にも、自然物や木材が多いです。この状況をなくするためにどうすればいいのでしょうか。・「ポイ捨てをしてはダメだ」という状況を作る「禁止」などの言葉ではなく「地域を大切にしている人がいる」などの肯定的なメッセージを使うこと。

図1を見て平成24年から令和3年までの間で、油や廃棄物の量が大幅に増えているからそれの方で減らすためには海の近くにゴミ箱の数を増やして海へのごみの量を減らすのがいいと思いました。

14 海の豊かさを
守ろう



図1

